

○ 木下地等の表面仕上げ	[6. 5. 1]						
	表面仕上げの種別				適用箇所		
	機械加工				・ A 種 ・ B 種 ・ C 種		
	手加工				○H－A種 ○H－B種 ・ H－C種		
	[6. 5. 2]						
	・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材						
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
				※2級		※ A 種 ・ B 種	・
				※2級		※ A 種 ・ B 種	・
				※2級		※ A 種 ・ B 種	・
	・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材						
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
	見え掛り面	杉	25		図示	※ A 種 ・ B 種	・
	見え掛り面以外				※小節以上	※ A 種 ・ B 種	・
						※ A 種 ・ B 種	・
	・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材						
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
				※1級		※10%以下 A 種 ・ B 種	・
				※1級		※10%以下 A 種 ・ B 種	・
			※1級		※10%以下 A 種 ・ B 種	・	
・「製材の日本農林規格」以外の製材							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用	
			() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・ B種	・	
			() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・ B種	・	
			() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・ B種	・	
[6. 5. 2]							
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用		
				※1等 ・ 2 等	・		
				※1等 ・ 2 等	・		
				※1等 ・ 2 等	・		
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用	
	化粧薄板： 芯材：				※1等 ・ 2 等	・	
	化粧薄板： 芯材：				※1等 ・ 2 等	・	
	化粧薄板： 芯材：				※1等 ・ 2 等	・	
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用		
	化粧薄板： 芯材：				・		
	化粧薄板： 芯材：				・		
	化粧薄板： 芯材：				・		
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用		
				・ ※15%以下	・		
				・ ※15%以下	・		
				・ ※15%以下	・		
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用	
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・	
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・	
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・	
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱							
施工箇所	樹種	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	
		・ 12 ※20		※13タイプ	※P又はM		

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用		
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・		
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・		
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・		
[6. 5. 2]								
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 造作用単板積層材								
・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材								
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工			防虫処理	間伐材等の適用		
		・有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・無し (等級：)			・適用する ・適用しない	・		
		・有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・無し (等級：)			・適用する ・適用しない	・		
・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材								
施工箇所	厚さ (mm)	表面の品質			防虫処理	含水率	間伐材等の適用	
		・有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・無し ()			・適用する ・適用しない	※14%以下	・	
		・有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・無し ()			・適用する ・適用しない	※14%以下	・	
・ C L T (直交集成板) [G]								
施工箇所	品名	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用	
							・	
							・	
							・	
[6. 5. 2]								
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外								
○普通合板[G]								
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用		
				広葉樹 ・ 1等 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	○適用する ・適用しない	・		
						・		
						・		
○構造用合板[G]								
施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
		・ 1級 ※2級以上		※1 類 ・ 特類	※C-D以上	・適用する ・適用しない	() ・適用しない	・
				※1 類 ・ 特類		・適用する ・適用しない	() ・適用しない	・
								・
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板[G]								
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用			
			※1 類 ・ 特類		・			
					・			
					・			
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板[G]								
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用			
	銘木	6.0mm	※1 類 ・ 2 類	・適用する ()	・			
					・			
					・			
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板[G]								
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等の適用		
		※1 類 ・ 特類			・適用する ()	・		
						・		
						・		
・パーティクルボード[G]								
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分			
	・ 12 ※20		※13タイプ	※P又はM				

・構造用パネル						
施工箇所		厚さ (mm)		等級		
				・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級 ・ 4 級		
				・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級 ・ 4 級		
・ M D F [G]						
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
壁	9	RS	5	P	難燃3	・
[6. 5. 3、4] [6. 8. 2] [6. 9. 2] [6. 11. 4、5]						
接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添付されていないものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 ・ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別 ・ 図示 ・						
[6. 5. 5]						
・ 防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位： ()						
・ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理						
適用部材		保存処理性能区分				
		・ K 2 ・ K 3 ・ K 4				
		・ K 2 ・ K 3 ・ K 4				
		・ K 2 ・ K 3 ・ K 4				
・ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理						
適用部材		処理の方法			薬剤の方法	
		※改修標準仕様書6.5.5(1) (b) ②?による			※JIS K 1571に適合 又は同等品	
・ 薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理 適用部位 ()						
[6. 6. 2～4]						
緑線等の種類						
屋外 (※ 25形 ・ 19形) 屋内 (※ 19形 ・ 25形)						
・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 緑線受、吊りボルト及びびんサートの間隔 ・ 図示 ・ 周辺部の端からの間隔 ・ 図示 ・ 緑線の間隔 ・ 図示 ・						
既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (試験箇所数 ・ 箇所 ・ 確認強度 ・ N ・ ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m ² 以内の天井の場合は400N程度) ・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・ ・ 天井のふところ及び1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法 ※改修標準仕様書6.6.4(3)による ・ 天井のふところ及び3.0mを超える場合 補強方法 ※図示 ・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 ・ 補強方法 ※図示 ・						
[6. 7. 3、4] [表6.7.1]						
スタッド、ランナーの種類						
※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・ 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※標準仕様書6.7.4(5)による						
[6. 8. 2、3]						
種類の記号		色柄		厚さ (mm)	備考	
※FS (複層ビニル床シート)		○無地 ・マブ [®] 柄 ・柄物 (木目調)		※ 2.0		
目地処理する場合の工法 ・ ※熱溶接工法						
[6. 8. 2]						
種類の記号		色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	
・ T T (単層ビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450 ・	・ 2.0 ・		
・ F T (複層ビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450 ・	・ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0		
・ K T (コバ [®] ジッポビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450 ・	・ 2.0 ・ 3.0		
・ F O A (置敷きビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 500×500 ・	・ 4.0 ・		
・ F O B (薄型置敷きビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物		・		
[6. 10. 2、3]						
合成樹脂塗床						
種類		施工箇所	工法	仕上げの種類		
・ 厚膜型塗床材 弾性化 [®] 樹脂系塗床				・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ		
○厚膜型塗床材 球 [®] 樹脂系塗床		ギャラリー 器具庫 機械室 地下室 シャワー室 ブル便所	○厚膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂もみ [®] 工法	・ 平滑仕上げ ○防汚仕上げ		
・ 薄膜型塗床材				※平滑仕上げ		
厚膜型塗床材 (球 [®] 樹脂系塗床) の仕様については下記同等品とする。						
施工箇所	製造所 (製品名)			備考		
ギャラリー	器具庫 機械室 地下室 シャワー室 ブル便所			美州タイムミカル (オッシャーコートE310) 塗付 quantity: 塗料製造所の仕様による		
塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・						

特殊機能床材		[6. 8. 2]				
・ 帯電防止床シート		()				
種類 ()		()				
性能 ()		()				
厚さ (mm)		()				
・ 帯電防止床タイル		()				
種類 ()		()				
性能 ()		()				
寸法 厚さ (× mm)		()				
・ 視覚障害者用の床タイル		()				
種類 ()		()				
形状 ()		()				
突起の形状、寸法及びその配列はJIS T9521による		()				
・ 耐動荷重性床シート		()				
種類 ()		()				
厚さ (mm)		()				
・ 防滑性床シート		()				
種類 ()		()				
厚さ (mm)		()				
・ 防滑性床タイル		()				
種類 ()		()				
寸法 厚さ (× mm)		()				
材質の種類 ・ 軟質 ・ 硬質		()				
高さ (mm) ※60 ・ 75 ・ 100		()				
厚さ (mm) ※1.5以上		()				
[6. 8. 2]						
種類 ・ 単層品 ・ 積層品		()				
色柄 ()		()				
厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0		()				
寸法 (mm) ()		()				
[6. 9. 2、3] [表6.9.1]						
・ 織じゅうたん						
織り方		パイルの形状				
・ ウィルトンカーペット		・ カットパイル				
・ ダブルフェースカーペット		・ ループパイル				
・ アキスミンスターカーペット		・ カット/ループパイル				
色柄 (・ ※模様のない無地)		()				
パイル糸の種類等		()				
※無地の織りじゅうたんの種別 (・ A 種 ・ B 種 ・ C 種)		()				
帯電性 ・ 適用する ・ 適用しない		()				
織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法		()				
下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm		()				
・ タフテッドカーペット						
パイルの形状		パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考	
・ カットパイル		・ 5～7 ・	・ 全面接着工法	・ 適用する		
・ ループパイル		・ 4～6 ・	・ グリッパ [®] 工法	・ 適用しない		
・ カット、ループ併用		・				
下敷き材 (グリッパ [®] 工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・						
・ ニードルパンチカーペット 厚さ (mm) () 帯電性 ・ 適用する ・ 適用しない 備考 ()						
・ タイルカーペット						
パイルの形状		種別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備 考
※ ループパイル		※ 第一種 ・ 第二種	体育研究室	※ 500×500	※ 6.5	
・ カットパイル		・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5	
・ カット・ループ併用		・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5	
タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・ 模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・ 市松敷き ・						
見切り、押え金物 材質 (SUS) 種類 () 形状等 ※図示 ・						
[6. 10. 2、3]						
合成樹脂塗床						
種別		施工箇所	工法	仕上げの種類		
・ 厚膜型塗床材 弾性化 [®] 樹脂系塗床				・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ		
○厚膜型塗床材 球 [®] 樹脂系塗床		ギャラリー 器具庫 機械室 地下室 シャワー室 ブル便所	○厚膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂もみ [®] 工法	・ 平滑仕上げ ○防汚仕上げ		
・ 薄膜型塗床材				※平滑仕上げ		
厚膜型塗床材 (球 [®] 樹脂系塗床) の仕様については下記同等品とする。						
施工箇所	製造所 (製品名)			備考		
ギャラリー	器具庫 機械室 地下室 シャワー室 ブル便所			美州タイムミカル (オッシャーコートE310) 塗付 quantity: 塗料製造所の仕様による		
塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・						

外部仕上表

部 位			仕 上		改修内容
屋根【勾配屋根】	改修前	合成高分子系ルーフィングシート防水t1.5(非歩行) 機械固定工法+アルミ箔付きルーフィング張 下地：玉砂利コンクリートt45（リブ付きメタルラス）裏塗りモルタルt6	撤去 (下地残置)		
	改修後	水施工法+下地調整(樹脂モルタル)+合成高分子系ルーフィングシート防水t1.5(非歩行) 接着断熱工法 断熱材：硬質ウレタンフォーム厚50	新設		
屋根【陸屋根】 器具庫、放送室	改修前	平場・立上）コンクリートのうえ防水モルタルt30	残置		
	改修後	平場・立上）水施工法+下地調整+ウレタン塗膜防水（X-2）	新設		
屋根【陸屋根】 体育教官室・男女更衣室	改修前	平場）合成高分子系ルーフィングシート防水 機械固定 立上）合成高分子系ルーフィングシート防水 接着工法	残置		
	改修後	平場）既存防水層：水施工法、合成高分子系ルーフィングシート防水t1.5(非歩行) 機械固定断熱工法 断熱材：硬質ウレタンフォーム厚50 脱気筒：1箇所 立上）水施工法+合成高分子系ルーフィングシート防水t1.5接着工法	新設		
庇【屋根】	改修前	平場・立上）ウレタン塗膜防水	残置		
	改修後	平場・立上）水施工法+ウレタン塗膜防水（X-2）	新設		
庇【天端・庇鼻】	改修前	砂壁状吹付塗装	残置		
	改修後	水施工法+可とう形改修塗材E	新設		
庇【庇上裏】	改修前	砂壁状吹付塗装	残置		
	改修後	水施工法+可とう形改修塗材E	新設		
ルーフドレン【勾配屋根】	改修前	鋳鉄製 φ100	残置		
	改修後	改修用縦型ドレイン 75φ	新設		
ルーフドレイン【庇】	改修前	鋳鉄製 角横引き型85×55	残置		
	改修後	改修用横型ドレイン 50φ	新設		
とい【勾配屋根】軒樋	改修前	コンクリート成形 巾250×130 防水モルタル塗t20ー35	残置		
	改修後	合成高分子系ルーフィングシート防水 接着工法	新設		
とい【勾配屋根】壁樋	改修前	鉄管φ100 SOP塗装	撤去		
	改修後	塩化ビニルφ100（樋支持金物@1000共）	新設		
外壁【壁・柱型】	改修前	モルタルt30のうえ砂壁状吹付塗装	残置		
	改修後	水施工法+可とう形改修塗材E	新設		
犬走り	改修前	モルタル塗t30	撤去		
	改修後	モルタル塗t30	新設		
流し台【体育館東面】	改修前	コンクリート成形のうえSUS板t1.6張	撤去		
	改修後	SUS製流し台	新設		
流し台【体育館南面】	改修前	コンクリート成形のうえ塗布防水	残置		
	改修後	下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	塗替		

部 位			仕 上		改修内容
プール 付 属 屋	屋根	改修前	平場）合成高分子系ルーフィングシート防水t1.5(非歩行) 機械固定工法 立上）合成高分子系ルーフィングシート防水 接着工法 下地：コンクリートのうえモルタルt30	残置	
		改修後	平場）水施工法+合成高分子系ルーフィングシート防水t1.5(軽歩行) 機械固定工法 立上）水施工法+合成高分子系ルーフィングシート防水t1.5接着工法	新設	
外壁	ルーフドレン	改修前	コンクリートブロックのうえモルタル下地調整 複層吹付塗装	残置	
		改修後	水施工法+可とう形改修塗材E	新設	
とい		改修前	鋳鉄製 φ100	残置	
		改修後	改修用縦型ドレイン 75φ	新設	
屋根		改修前	鋳鉄製 φ100	残置	
		改修後	下地調整（RB種）+SOP塗装(B種)	塗替	
外壁	庇【天端・庇鼻】	改修前	コンクリート下地のうえ防水モルタルt30	残置	
		改修後	水施工法+ウレタン塗膜防水（X-2）	新設	
庇【庇上裏】		改修前	コンクリートブロックのうえモルタル下地調整 複層吹付塗装	残置	
		改修後	水施工法+可とう形改修塗材E	新設	
ルーフドレン【陸屋根】		改修前	モルタル金鍍仕上げt25	残置	
		改修後	水施工法+可とう形改修塗材E	新設	
とい【壁樋】		改修前	モルタル下地白セメント吹付	残置	
		改修後	水施工法+可とう形改修塗材E	新設	
通気管		改修前	鋳鉄製φ150	残置	
		改修後	改修用縦型ドレイン 100φ	新設	
塀		改修前	塩化ビニルφ100 SOP塗装（樋支持金物@1000共）	撤去	
		改修後	塩化ビニルφ100（樋支持金物@1000共）	新設	
犬走り		改修前	鉄製100φSOP	残置	
		改修後	下地調整（RB種）+SOP塗装(B種)	塗替	
犬走り		改修前	化粧コンクリートブロック	残置	
		改修後			
犬走り		改修前	コンクリート下地のうえモルタルt30	残置	
		改修後			

内部仕上表

室名			FL	CH	床			幅木			壁			天井		備考
					下地	仕上	改修内容	仕上	H	改修内容	仕上	改修内容	仕上	改修内容		
体育館	アリーナ	改修前	±0	4,900 ～6,470	鋼製床下地 +パーティクルボードt26	ブナフローリングt18張	撤去 (下地共)	木製（ラワン）SOP	220	撤去	セメント押出成形板 t=15+ラワン板堅張 t=12+木下地30×24 (躯体部：複層吹付塗装)	残置	化粧ガラスウールボードt25	残置	床下点検口 鋼製 600×600 1箇所	
		改修後			鋼製根太+鋼製大引+鋼製束 断熱材t25(鋼製根太間に設置)	大型積層フローリング t 18 UC塗装 +合板 t=12	新設 (下地共)	木製 EP-G塗	220	新設	① LGS50+断熱材t25+GB-R t12.5mm木質内壁材 t=12 ② LGS50+断熱材t25+GB-R t12.5mmの上EP-G塗 ③ 下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	新設				
	ステージ	改修前	+900	5,030 ～6,590	根太135x67.5@450	フローリングボード張 t18 +ラワンベニヤt12	撤去	木製（ラワン）SOP	100	撤去	複層吹付塗装	残置	化粧ガラスウールボードt25	残置	舞台吊物装置	
		改修後			根太120x60 @450	大型積層フローリング t 18 UC塗装 +合板 t=12	新設	木製 EP-G塗	100	新設	① LGS50+断熱材t25+GB-R t12.5mm木質内壁材 t=12 ② LGS50+断熱材t25+GB-R t12.5mmの上EP-G塗 ③ 下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	新設				
	ギャラリー	改修前	+2500	2400～	コンクリート	金鍍押え	残置				複層吹付塗装	残置	化粧ガラスウールボードt25	残置	手摺 鉄製 H900 SOP 鼻先カバープレート t1.6 SOP	
		改修後			コンクリート	防塵塗装	新設				① LGS50+断熱材t25+GB-R t12.5mm木質内壁材 t=12 ② LGS50+断熱材t25+GB-R t12.5mmの上EP-G塗 ③ 下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	新設				
	器具庫	改修前	±0	2350	コンクリート	金鍍押え	残置				コンクリートブロックのうえ複層吹付塗装	残置	複層模様塗料吹付	残置		
		改修後				防塵塗装	新設				下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	塗替	下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	塗替		
	放送室	改修前	±0	2350	コンクリート	金鍍押え	残置				軽量鋼製下地65型 石膏ボードt9+12 +複層吹付塗装	残置	複層模様塗料吹付	残置		
		改修後				長尺塩ビシート貼	新設				下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	塗替	下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	塗替		
	体育教官室	改修前	+900	3170	木下地	フローリングボード張 t18 +ラワンベニヤt12	撤去 (仕上)	木製（ラワン）SOP	100	撤去	軽量鋼製下地65型 石膏ボードt9+12 +複層吹付塗装	残置	複層模様塗料吹付	残置	床下点検口 鋼製 600×600 1箇所	
		改修後			木下地	大型積層フローリング t 18 UC塗装 +合板 t=12	新設 (仕上)	木製 EP-G塗	100	新設	① 下地調整(RB種)+EP-G塗(B種) ② LGS50+断熱材t25+GB-R t12.5mmの上EP-G塗	新設	下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	塗替		
	男子更衣室 女子更衣室	改修前	+900	3170	コンクリート	C F シート張	撤去 (仕上)	木製（ラワン）SOP	100	撤去	軽量鋼製下地65型 石膏ボードt9+12 +複層吹付塗装	残置	複層模様塗料吹付	残置		
		改修後			コンクリート	下地調整+C F シート張	新設 (仕上)	木製 EP-G塗	100	新設	① 下地調整(RB種)+EP-G塗(B種) ② LGS50+断熱材t25+GB-R t12.5mmの上EP-G塗	新設	下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	塗替		
	地下倉庫	改修前	-1720	2455	コンクリート	コンクリート直仕上	残置				コンクリート直仕上	残置	コンクリート直仕上	残置		
		改修後			コンクリート	防塵塗装	新設				モルタル左官補修（全体の30%程度）	新設	モルタル左官補修（全体の30%程度）	新設		
プール 附属屋	機械室	改修前	+350	2550	コンクリート	金鍍押え	残置				コンクリートブロック化粧目地仕上 一部白セメント吹付	残置	白セメント吹付	残置	排水溝 450×450 1箇所	
		改修後			コンクリート	防塵塗装	新設				下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	塗替	下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	塗替		
	シャワー室	改修前	+350	2550	コンクリート	金鍍押え 防水塗装	残置	VP塗装	800	残置	コンクリートブロックのうえモルタル塗	残置	白セメント吹付	残置		
		改修後			コンクリート	防水塗装	塗替				防水塗装	塗替	下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	塗替		
	通路	改修前	+800	2100	コンクリート	金鍍押え	残置				複層吹付塗装	残置	白セメント吹付	残置		
改修後	コンクリート	防塵塗装			新設				水洗工法+可とう形改修塗材E	新設	下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	塗替				
プール 便所	男子便所 女子便所	改修前	-170	2200	モルタルt30	防滑性塗床	残置	モルタル塗t18 VP塗装	100	残置	コンクリートブロックのうえ モルタル塗t18 VP塗装	残置	木下地 スギ 36×39@900 フレキシブルボード t3 VP塗装	撤去 (下地共)		
		改修後			モルタルt30	下地調整(RB種)+防滑性塗床	塗替	下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	100	塗替	下地調整(RB種)+EP-G塗(B種)	塗替	LGS下地化粧ケイカル板t6.0 樹脂製廻り縁	新設 (下地共)		

記事	東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課		[] : 変更指示範囲を示す。	業務名称 東京学芸大学(小金井)附属小金井小学校体育館他改修設計業務		工事名称 東京学芸大学(小金井)附属小金井小学校体育館他改修工事		縮尺 (A1) — (A3) —	設計年月 令和 8年 3月
				株式会社 本多建築設計事務所		図面名称 外部仕上表・内部仕上表【改修前・改修後】			図面番号 A-03
				一級建築士事務所登録 東京都知事 第98792号					
				一級建築士 第24621号 本多和夫					

建具名称	①AW × 1 ①AW × 10 引違い連窓アルミサッシ	②AW 引違い連窓アルミサッシ	③AW 引違い連窓アルミサッシ	④AW 引違い連窓アルミサッシ	⑤AW 引違い連窓アルミサッシ	⑥AW 引違いアルミサッシ
数 量	11	1	1	1	4	3
見 込	70	70	70	70	70	70
形状・寸法	東西側：ガラス 【新設】 × 1 0 北側：建具・枠 【新設】 × 1 ※建具・枠 共の場合を示す。 建具のみの場合はLow-E3 + A6 + ST4(複層ガラス)とする。	北側：建具・枠 【新設】 	ガラス 【新設】 	建具・枠 【新設】 	ガラス 【新設】 	建具・枠 【新設】
取付場所	アリーナ2階	アリーナ2階	体育教官室	男子更衣室・女子更衣室	ステージ	器具庫
材料仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
ガラス	Low-E3 + A6 + PW6.8(複層ガラス) ※	Low-E3 + A6 + PW6.8(複層ガラス)	Low-E3 + A6 + ST4(複層ガラス)	Low-E3 + A6 + FW6.8(複層ガラス)	Low-E3 + A6 + ST4(複層ガラス)	Low-E3 + A6 + FW6.8(複層ガラス)
附属金物	クレセント、水切、7mm額縁	クレセント、水切、7mm額縁、ドアチェック、アングル、レバーハンドル	クレセント、水切、額縁アングル、ドアチェック、アングル、レバーハンドル、シリンダー錠、付属金物一式	クレセント、水切、7mm額縁	クレセント、水切、額縁アングル	クレセント、水切、7mm額縁
備 考	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備 考	木額縁巾110					
建具名称	①AD 片開きアルミドア	①SD 4本引分けスチールドア (吊戸)	②SD 4本引分けスチールドア (吊戸)	③SD 両開きスチールドア	④SD 両開きスチールドア	⑤SD 片開きスチールドア
数 量	1	5	1	2	1	2
見 込	70	85	85	85	85	85
形状・寸法	建具・枠 【新設】 	建具・枠 【新設】 	建具・枠 【新設】 	建具・枠 【新設】 	建具・枠 【新設】 	建具・枠 【新設】
取付場所	通路C	アリーナ	アリーナ	アリーナ	器具庫	ステージ、通路B
材料仕上	アルミ	スチールSOP、SUS沓摺	スチールSOP、SUS沓摺	スチールSOP、SUS沓摺	スチールSOP、SUS沓摺	スチールSOP、SUS沓摺
ガラス					FW t6.8	
附属金物	ドアチェック、7mm額縁、レバーハンドル、シリンダー錠	鎌状、差し込み金物、シリンダー錠	鎌状、差し込み金物、シリンダー錠	丁番、フランス落とし、ドアチェック、シリンダー錠	丁番、フランス落とし、ドアチェック、レバーハンドル	丁番、ドアチェック、レバーハンドル
附属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	シリンダー錠、付属金物一式	付属金物一式
備 考		木額縁巾250	木額縁巾250	木額縁巾210		
備 考						
建具名称	⑥SD 4本引分けスチールドア (吊戸)	⑦SD × 2 ⑦SD × 2 片開きスチールドア	⑧SD 両開きスチールドア	①SW 引違いスチールサッシ	②AW 引違いアルミサッシ	②SW 引違いスチールサッシ
数 量	1	4	1	1	2	1
見 込	85	85	85	85	70	85
形状・寸法	建具・枠 【新設】 	建具・枠 EP-G塗 【塗替】 	建具・枠 【新設】 	ガラス 【新設】 	建具・枠 【新設】 	アルミパネル 【新設】
取付場所	アリーナ	アリーナ、ギャラリー	プール機械室	プール機械室	プール便所	プールシャワー室
材料仕上	スチールSOP、SUS沓摺	スチールSOP、SUS沓摺	スチールSOP、SUS沓摺	スチールSOP	アルミ	スチールSOP
ガラス				FW t6.8	F t4.0	
附属金物	鎌状、差し込み金物	丁番、ドアチェック、レバーハンドル	丁番、フランス落とし、ドアチェック、レバーハンドル、シリンダー錠、付属金物一式	クレセント、水切、額縁アングル	クレセント、水切、7mm額縁	クレセント、水切、額縁アングル
附属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備 考	木額縁巾250	木額縁巾60				
備 考						